

## Global LEAP 学生生活動報告

総合政策学部

正木 皓二郎

Global LEAP の魅力のひとつとして、インプットとアウトプットをする場が充実している点が挙げられます。前期に開講されるグローバル総合講座では、環境や医療をはじめとする各分野の専門家の方々をお招きし、日本や世界が直面する課題についてサステナビリティの観点から理解を深めます。授業内では毎回、講師の方々と踏み込んだディスカッションが行われ、社会課題をより実践的に学習することができます。また、東北被災地を訪問するアクティブラーニングでは、講義で学んだ知識や情報をもとに地域が抱える課題について考え、自らで解決策を提案します。このように、Global LEAP は専門的な知識を得られる場だけでなく、講師や仲間との議論を通じてさらに問題を深掘りし、講義で得たものを、自分が望む方法でアウトプットできる環境が整っています。前期の講座を通じて、私たちが生きる現代がどれほど深刻で複雑な課題を抱えているか理解することができ、その課題の数々を“自分ごと”として捉えられるようになりました。また、これらの課題解決を目指すうえで、サステナビリティの視点の大切さ、1人1人の意識と行動の重要性を、身を持って感じることができました。

後期に行われる専門インターンシップでは、興味に沿って学生自らインターンシップ先を決めることができます。私は留学先のカンボジア、プノンペンにてフリーマガジン（日本語・英語・クメール語）の出版やカンボジア製品の販売等を行っている、カンボジア情報サービスさんにお世話になりました。オフィスには 8:00～17:00、週に 2 回の頻度で 4 カ月間通い、取材、ウェブ記事、紙面記事の執筆を担当させていただきました。ウェブではイベント・講演会のお知らせや企業の広告記事の執筆を、紙面では日本の文化やトレンドを紹介する記事や、カンボジアで活動する方へのインタビュー記事、技能実習制度に関するリサーチ等を行いました。オフィスではアットホームな雰囲気のなか、自由度の高くかつ、責任のある仕事を任せていただくことができました。文章の添削から取材の方法まで、毎回丁寧な指導もしていただき、非常に充実したインターンシップとなりました。カンボジアと、何よりそれぞれの仕事を愛しているスタッフの皆さんと一緒に働くことのできた 4 カ月間は、私のこれからの人生においても、大切な財産となりました。カンボジア情報サービスの皆さんにはこの場をお借りしまして深く感謝を申し上げます。

世界が抱える社会課題に興味がある学生や、海外での活動に興味がある学生はもちろん、将来の方向性に迷っている学生や、何か新たにアクションをおこしたいと考えている学生にとっても、Global LEAP は大きなチャンスだと思います。きっと自分の人生を長期的な目で、より身近に捉えるきっかけを与えてくれます。Global LEAP に少しでも興味がある学生は学年を問わず、是非応募してみてください。学生生活だけにとどまらず、これからの人生においても大切でかけがえのない学びがきっとあなたを待っています。